

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症に対する門脈-大循環シャント閉塞術の有効性に関する臨床的検討		
② 実施予定期間	実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に第一内科にてバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術(BRTO)を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2017 年 4 月 1 日 ～ 実施許可日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一内科		
⑦ 研究責任者	氏名	石川 剛	所属 第一内科
⑧ 使用する試料・情報等	対象患者さんのカルテ等から、年齢、生年月、性別、門脈圧亢進症の成因、既往歴、併存疾患、前治療歴（肝細胞癌・静脈瘤）、血液検査所見、画像所見、肝予備能・肝線維化に関連する指数等を抽出します。また日常診療で採取された血液の残余検体から血清成分を抽出し、その後の日常診療での使用（再検査・追加検査）のために冷凍保存したもののうち、日常診療に影響を及ぼさない分量を用いて酵素結合免疫吸着測定法でエンドセリン1（血管収縮因子）濃度を測定します。		
⑨ 研究の概要	門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症(PoPH)は、門脈圧亢進に関連して発症する稀少かつ予後不良な呼吸器疾患で、この病態に門脈-大循環シャントの発達が密接に関与していると報告されています。一方、BRTOは門脈-大循環シャントを塞栓することで胃静脈瘤や肝性脳症に絶大な効果をもたらすカテーテル治療ですが、それがPoPHの病態に及ぼす影響は未だ証明されていません。 本研究では当院でBRTOを受けられた患者さんを対象として、治療前後の血液検査結果および画像検査結果をもとに、BRTOが肺動脈循環に及ぼす影響を検討し、さらにその機序に関与すべく種々の因子の変化についても解析します。		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2025 年 5 月 1 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。		

⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	第一内科の奨学寄附金を用います。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第一内科 石川 剛			
	電話	0836-22-2241	FAX	0836-22-2240